

# 高校生の多言語志向に伝えたい

## 立命館大学の新しいAO選抜入学試験、文学部国際方式第2弾、「英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語」が始まる



英語だけでなくドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語のいずれかを、高校までに学んでいる受験生を対象に、AO入試を行うのが立命館大学文学部。5言語ごとに出願要件を定め、昨年度から始まった「中国語・朝鮮語／キャンパスアジア」プログラムに連動した「中国語・朝鮮語／キャンパスアジア」に続く「国際方式」の第2弾。西日本最大級の規模を誇る立命館大学文学部は、2012年、それまでの14専攻・プログラムを、受験生のより柔軟な進路選択を図るために改編。現在は7学域17専攻で、「言葉は窓、文学部で外国語を学ぼう」と多言語教育や留学にも力を入れています。新しいAO入試導入の趣旨や狙いについて、国際文化学域英米文学専攻の竹村はるみ先生にお聞きしました。

対象学域	言語の種類	試験名称等	資格要件
国際文化学域 「中国語・朝鮮語」学域	英語	実用英語技能検定	2級以上(受験時期は問わない)
		TOEFL iBT® テスト	57点以上(2015年4月1日以降に受験したもの)
		TOEIC® テスト	550点以上(2015年4月1日以降に受験したもの)
		IELTS (Academic Module)	Overall Band Score 4.5以上 (2015年4月1日以降に受験したもの)
国際文化学域	ドイツ語	GTEC CBT	1000点以上(2015年4月1日以降に受験したもの)
		ドイツ語技能検定試験	4級以上
	ゲーテ・インスティテュートの実施するドイツ語検定試験	スタート・ドイツ語1 A1以上	
	フランス語	実用フランス語技能検定試験	4級以上
		DELFL・DALFL (フランス国民教育省認定フランス語資格試験)	DELFL A1以上
	スペイン語	スペイン語技能検定	5級以上
DELE (スペイン政府認定証)		A1以上、または旧DELE Nivel Inicial 以上	
イタリア語	実用イタリア語検定	4級以上	
	PLIDAイタリア語検定試験(イタリア政府公認)	A1以上	
		CILSイタリア語検定試験(イタリア政府公認)	A1以上

国際方式(英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語)の言語ごとの出願要件

入試方式の詳細は「立命館大学入試情報サイト」の入試要項・出願書類ダウンロードページよりご確認ください。

**国際方式第2弾**  
立命館大学文学部はこれまで、様々な入試を通じて、多様な学生の受け入れを図ってきましたが、昨年からはその新しいAO入試として、「国際方式(中国語・朝鮮語／キャンパスアジア)」が加わりました。キャンパスアジア・プログラムは日本・中国・韓国の3大学を、移動キャンパスの名の下に、半期ずつ2周する独自のプログラムであり、「国際方式(中国語・朝鮮語／キャンパスアジア)」では、東アジア研究学域に進みたい受験生を対象に、プログラムに欠かせない中国

語、朝鮮語について、その検定試験などのスコアを要件としています。これに続く、多言語型の新たなAO入試として導入されるのが、「国際方式(英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語)」です。これは、同じく国際文化学域、コミュニケーション学域を対象に同時に新設される「国際方式(デュアル・ディグリー・プログラム)」とともに、文学部の特長を生かした国際方式の第2弾という位置付けになります。ただし、入学後のプログラムと連動している「中国語・朝鮮語／キャンパスアジア」と「デュアル・ディグリー・プログラム」とは異なり、「国際方式(英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語)」はあくまでも「学びの入り口としてのAO入試」となっています。ちなみに「デュアル・ディグリー・プログラム」は立命館大学とカナダ・アルバータ大学との2つの学位取得を目指すし、国際文化学域(英米文学専攻)およびコミュニケーション学域(国際コミュニケーション専攻)を志望する高校生を対象に、国際バカロレア資格取得予定者、取得者や英語資格検定試験のTOEFL iBT®ならびにIELTSのスコアを要件とするものです。

私は国際文化学域で教えるようになって5年経ちますが、英語だけでなくそれ以外の言語に興味のある、多言語志向ともいえるべき受験生が増えてきているのを感じています。グローバル化が加速する中で、高校生も多様な言語に興味・関心を向けて始めているのかもしれない。文部科学省の統計によると、ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語を第一外国語もしくは第二外国語(多くは選択科

**今なぜ、英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語か**  
国際文化学域は、英米文学専攻・西洋文学専攻・文化芸術専攻の3つの専攻で構成され、学域に入学した学生は2年次進級時に専攻を選ぶ形となります。国際文化学域はグローバルな視点から芸術・文学・歴史・思想といった人間文化・社会の多岐に渡る研究をテーマにしており、英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語の圏の研究をはじめ、多様な専門分野を持つ教員が在籍するユニ

目)の授業として設置している高校は、2015年で約450校、そこで学ぶ生徒は約17000名に上ります。国際文化学域は、英米文学専攻・西洋文学専攻・文化芸術専攻の3つの専攻で構成され、学域に入学した学生は2年次進級時に専攻を選ぶ形となります。国際文化学域はグローバルな視点から芸術・文学・歴史・思想といった人間文化・社会の多岐に渡る研究をテーマにしており、英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語の圏の研究をはじめ、多様な専門分野を持つ教員が在籍するユニ



立命館大学 文学部 国際文化学域 教授 竹村 はるみ先生

**Profile**  
1990年京都大学 文学部 文学科 英語学英文学専攻卒業。1995年京都大学大学院 文学研究科 英語学英米文学専攻 博士課程 後期課程修了。Master of Arts (1992年 京都大学) 2002年姫路獨協大学・助教授、2007年同教授、2008年立命館大学・准教授 2013年から現職。専門は初期近代イギリス文学・文化 大阪府立高津高等学校出身。

2年次からの留学を目指して  
国際方式(英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語)には、連動する特定のプログラムはありませんが、入学後の留学出発

時期をできるだけ早くめるという狙いがあります。文学部では例年、学年当たりで全体の約3分の1に相当する約350名が海外留学に参加していますが、この数は本学14学部の中でも最多を誇っています。留学期間として最も望ましいと私が考えるのは、前期からにせよ後期からにせよ2年次からの1年間です。就職活動に影響がないだけでなく、ゼミや卒業論文にもじっくり取り組め、留学から得たものを大学後期の学びに活かすことができ、ひいては学内の活性化にもつながります。ただし、留学するためには、その前年度の応募時点で語学要件を満たす必要があります。英語以外の言語を入学後に学び始める多くの学生にとって、例えばフランスやドイツへの本格的な留学(アドバンスト型)に必要な語学要件を1年次前期の時点で取得するのはなかなか困難です。その点、高校時代にこうした英語以外の言語をある程度学び、大学入学時点で既に基礎力のある学生は、AO入試合格後から1年次前期にかけて、交換留学を継続することで、1年次の交換留学の募集までに必要な語学要件を十分に満たすことができます。

英語を除く各言語の出願要件は、高校での3年間を通して週2、3時間学んでいればクリアできる水準で設定しました。AO入試で重視するのは志望動機や志願理由です。第一外国語として多様な言語を学んだ高校生のみなならず、第二外国語や選択科目としてドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語に興味を持った皆さんにも挑戦してもらいたいと思っています。また、選んだ言語に関連する専攻に進まなければならないという制約もありません。そもそも文学部の学びは、各専攻の垣根が低い柔軟な設計に特徴があり、卒業論文やゼミを中心とする専門科目以外は他学域や他専攻に開放されている科目が多く、開講科目の約80%は学域を超えて学部全体で開講されています。入学後、様々な授業

**R** OPEN CAMPUS 2016  
8/6(土)・7(日) 10:00-16:00  
入退場自由 / 参加無料

3キャンパス同時開催

**KYOTO**  
衣笠キャンパス

法学部  
産業社会学部  
国際関係学部  
文学部  
映像学部

**SHIGA**  
びわこ・くさつキャンパス(BKC)

経済学部  
スポーツ健康科学部  
理工学部  
情報理工学部  
生命科学部  
薬学部

**OSAKA**  
大阪いばらきキャンパス(OIC)

経営学部  
政策科学部  
総合心理学部

を受けながら、研究テーマや将来の進路を具体的に見定めていってもらえればと思います。

中学・高校時代に第2外国語まで学ぼうという生徒さんの中には、国際系学部や外国語大学への進学を考慮される人も多いかもしれません。が、言葉や、グローバルな視点で人文を学ぶためのツールとして捉える人にとって、本学部は最適だと思っています。外国語を学ぶという発想です。外国語教育については、既に一定の語学力を有する人(既修者)のための既修者対応プログラムも設置しています。総合大学の強みを生かした豊富な留学プログラムもあります。加えて、90年に亘って積み重ねてきた専門分野は実に多様で、充実しています。専攻に所属し専門領域について学ぶ一方、「イノベ

多言語を学ぶことで自分の可能性を広げ、多様な文化に触れ合うことで自分なりの価値観を育てたいと考える前向きな高校生に、ぜひチャレンジしてもらいたいと思います。

文学コースと英語アドヴァンストコースがある)や、中国、韓国、マレーシア、シンガポール、ハワイ、イタリアなどでの海外研修、ペナン(マレーシア)や広州(中国)での海外インターシッププログラムも開設されており、学際的で社会的ニーズの高いテーマについても学べます。また、中学・高校の教員免許も多くの教科で取得することができるとも特徴です。本学部は、伝統的な学びと新しい動向を反映した学び、専門性と柔軟性とのバランスが実によく取れており、それは多方面の就職に強いという進路状況にも表れています。